

品質・納期・生産性向上のための 変化点管理習得セミナー

変化点管理の実践ノウハウの習得

開催日時	2025年 6月27日(金)	オンライン	2025年 11月26日(水)	オンライン
	2025年 10月 9日(木)	大阪会場	2026年 2月26日(木)	オンライン
各回とも 10:00~17:00				

対 象	<ul style="list-style-type: none"> 生産管理部門・製造部門の中堅社員、リーダー、管理者、スタッフの方 生産管理改善推進担当の方、OJT指導・インストラクターの方 品質管理部門・ISO担当部門の方 設計・技術部門の方 物流・SCM担当の方 			
講 師	松井 順一 氏 コンサルティング(株) 代表取締役	参加料(税込)	法人会員：50,600円/1名 会 員 外：56,100円/1名	<small>※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。</small> <small>※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)</small> <small>※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。</small> <small>https://www.jma.or.jp/membership/</small> <small>※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。</small>

ね ら い

生産現場では様々な理由によって品質や納期の問題、生産性の低下が引き起こされています。これら理由の多くは、**いつもと違う状態の変化・変更といった異常**にあります。管理とは**異常状態を正常な状態に戻すこと**です。

生産活動の品質・納期・生産性を維持し、高めるためには、問題の原因である変化・変更を予知または検知し、処置する**変化点管理能力**を身につけることが必要です。

本セミナーでは、生産現場で発生する異常を正常に戻すための管理策の展開、徹底のための標準化と識別について解説します。事例紹介と演習により、具体的な取り組み方を習得していただけます。

参加者の声

- 他の受講者の方と意見交換ができる点が非常によかったです。「見える化しただけでは効果はない」という言葉がとても印象に残り、普段の業務で意識を変化させる必要を強く感じられました。
- おおよそどのような変更点を管理したら良いかがわかったことが、本当によかった。
- 講師の体験や経験からくる話を聞けて有意義でした。オンライン研修は一方通行かと思っていたら演習やディスカッションが多く、気づきの多い研修でした。
- 質問への回答がすべての的確で得るものが多かった。単に知識を教えるだけではなく、参加者が考えて実践できるような流れが素晴らしいかった。

■ プログラム

10:00~17:00 【昼食】 12:00~13:00

1 生産現場の日常を取り巻く問題点

- 生産現場を混乱させる最大の原因が変化と変更
- 生産現場の4M(人・設備・方法・原材料)の変化するとどうなる?
- 4Mにも影響する製品変更・工程変更・設備変更などの要件変更がどのように影響する?

演習 自社・自職場の生産現場の変化・変更の問題点を考えてみよう

2 変化点管理とは

- 生産現場の日常管理とは異常を正常に戻し維持すること
- 変化点管理の全体像と管理内容とその構成

3 変化点管理の進め方と急所

- ① 変化点を予知するための工程故障解析による変化点の洗い出しと対策の進め方と急所

演習 自社・自職場の変化点の洗い出しをしてみよう

- ② 工程/作業変更の展開と変更点管理の進め方と急所
 - ・工程/作業変更の管理のための「しかけ」と「ツール」
 - > スキル認定/材変認定/工変認定/品質認定管理ボード
- ③ 日常的に発生する変化点の見える化の進め方と急所
 - ・日常変化点の管理のための「しかけ」と「ツール」
 - > 変化点の見える化管理ボード

演習 自社・自職場の日常変化点の管理のための見える化ボードを作成してみよう。

- ④ 変化点を認識させ流出させないための識別管理の進め方と急所
- ⑤ 変化点に対する処置管理を徹底しQCDSを維持するための標準化と文書管理の進め方と急所
 - ・変化点に対する処置管理を徹底するための5S的「しかけ」と「ツール」

演習 変化点に対する処置を徹底するための5S手法によるしかけとツールを作成してみよう

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

